様式第６５０号

| 受付登録コード | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 7 | 8 | 1 | 1 |

| 届書コード | | 処理区分 | |
|---|---|---|---|
| 7 | 8 | 1 | 1 |

二次元コード貼付

# 年金分割のための情報提供請求書

◆ 請求方法について、該当する数字を丸で囲んでください。

**方法**　１．当事者二人による共同の請求　(2) 当事者一方のみによる請求

請求方法に関わらず、「請求者」欄、「配偶者(配偶者であった方)」欄の両方をご記入ください。（③欄を除く）

◆ 太枠□の中に必要事項をご記入ください。（２ページ目以降もご記入ください。）

## ①基本情報

| | | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合においてもご記入ください。 |
|---|---|---|---|
| 1-1 | （1）個人番号 ※1<br>（または基礎年金番号） | ❶ 1234567890 | ❸ 不明 |
| 1-2 | （2）生年月日 | ❷ 大正・(昭和)・平成　50年 8月 20日 | ❹ 大正・(昭和)・平成　48年 3月 3日 |
| 1-3 | （3）氏　名 | （フリガナ）ヤマダ　ハナコ<br>（氏）山田（旧姓 佐藤）　（名）花子 | （フリガナ）ヤマダ　タロウ<br>（氏）山田（旧姓　）　（名）太郎 |
| 1-4 | （4）住　所 ※2 | 郵便番号 123－4567<br>（フリガナ）ミホンケン ミホンシ シケンチョウ<br>市区町村<br>見本県見本市試験町1-2-3 | 郵便番号 －<br>（フリガナ）<br>市区町村<br>不明 |
| 1-5 | （5）電話番号 | 090 — XXXX — XXXX | — — |

※１　基礎年金番号（10桁）で届出する場合は左詰めでご記入ください。

※２　当事者一方のみによる請求の場合であって、配偶者（配偶者であった方）の現住所が不明の場合は①欄の「（４）住所」欄に「不明」と記入し、⑦欄の「配偶者の住所歴」欄に住所をわかる範囲でご記入ください。

## ②婚姻期間等

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2-1 | （1）法律婚期間<br>（事実婚期間のみの場合は記入不要です。） | 婚姻した日 | ❻ 昭和・(平成)・令和　12年 4月 1日 |
| | | 離婚した日または婚姻が取り消された日<br>（現在、婚姻関係にある場合は記入不要です。） | ❼ (令和)　8年 6月 15日 |
| 2-2 | （2）事実婚期間<br>（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情（事実婚関係）にある期間） | 事実婚期間の有無<br>（右欄の該当する数字を丸で囲んでください。） | (1) 事実婚期間を有しない。⇒ ③欄（裏面）へ進む<br>2．事実婚期間のみを有する。⇒ ア・イ・ウを記入する<br>3．事実婚期間と事実婚期間から引き続く法律婚期間を有する。⇒ ア・ウを記入する |
| | | ア 事実婚第３号被保険者期間の初日 | ❻ 昭和・平成・令和　年 月 日 |
| | | イ 事実婚関係が解消したと認められる日<br>（現在、事実婚関係にある場合は記入不要です。） | ❼ 令和　年 月 日 |
| | | ウ 事実婚第３号被保険者期間 ※3 | 昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで<br>昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで<br>昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで |

※３　事実婚第３号被保険者期間は、事実婚期間にある間に、一方が他方の被扶養配偶者として第３号被保険者であった期間です。記入欄には該当するすべての期間をご記入ください。記入欄が足りない場合は、⑥欄、⑦欄の「備考」欄にご記入ください。

| 年金事務所　決裁欄 | | |
|---|---|---|
| 決裁 | 二次 | 一次 |
| | | |

❺ 実施機関等 受付年月日

事務センター 受付年月日

## ③ 請求の意思確認

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合、「配偶者（配偶者であった方）」欄の記入は不要です。 |
|---|---|---|
| 3-1 （1）情報提供要否<br>右欄に☑してください。 | ☑ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 | ☐ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 |
| 3-2 （2）通知書等の交付方法<br>右欄の希望する交付方法の数字を丸で囲んでください。 | 1．年金事務所窓口での交付<br>(2) 郵送による交付 | 1．年金事務所窓口での交付<br>2．郵送による交付 |
| 送付先住所・宛名<br>郵送による交付を希望し、送付先住所が1欄と異なる場合に記入してください。<br>宛名は本人のみをご記入ください。 | ❽ 郵便番号 ［　　］－［　　］<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>（氏）❿ （名） | ❽ 郵便番号 ［　　］－［　　］<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>（氏）❿ （名） |
| 3-3 （3）年金見込額試算要否<br>年金分割をした場合の見込額を希望する場合は、該当するものに☑し、按分割合をご記入ください。 | ☑ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>☐ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能 | ☐ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>☐ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能 |
| | 希望する按分割合（上限 50%）<br>＊上限を超えた（または下限を下回る）按分割合を記入の場合は、上限（または下限）による試算を行います。 ［　　］％ | 按分割合…当事者双方の対象期間標準報酬総額の合計のうち、対象期間標準報酬総額が少ない方の分割後における持分の割合 |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、当事者以外の方に扶養され、第３号被保険者となっていた期間（または当事者以外の方を扶養し、第３号被保険者としていた期間）についてご記入ください。

## ④ 対象期間等に含めない期間

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合は、わかる範囲でご記入ください。 |
|---|---|---|
| 4-1 （1）当事者以外の方との第３号被保険者期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | (1) 該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する | 1．該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する<br>不明 |
| 4-2 （2）当事者以外の方の氏名等<br>当事者以外の方との第３号被保険者期間がある場合は、該当する数字を丸で囲み、当事者以外の方の氏名等をご記入ください。 | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある<br>（フリガナ）<br>（氏）（名）<br>（生年月日）大正・昭和・平成　年　月　日<br>（基礎年金番号）<br>該当なしは空欄 | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある<br>（フリガナ）<br>（氏）（名）<br>（生年月日）大正・昭和・平成　年　月　日<br>（基礎年金番号） |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、過去に情報提供を受けたことがある方のみご記入ください。

## ⑤ 再請求理由

| | |
|---|---|
| （1）前回情報提供時からの期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | 1．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過している。⇒ ⑥欄へ進む<br>2．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過していない。⇒（2）欄を記入する |
| 5 （2）再請求理由<br>前回情報提供から３か月を経過していない場合は、右欄のアからオのうち、該当するものを丸で囲んでください。 | ア 請求者または配偶者（配偶者であった方）の被保険者の種別の変更があったため。<br>イ 請求者または配偶者（配偶者であった方）が養育期間に係る申出を行ったため。<br>ウ 請求者または配偶者（配偶者であった方）が第３号被保険者に係る届出を行ったため。<br>エ 按分割合を定めるための裁判手続に必要なため。<br>オ その他（　　）<br>初回は記入しない |

**職員記入欄**（以下は記入する必要はありません。）

| 共済組合コード１ | ⓫ | 共済組合コード２ | ⓬ | 共済組合コード３ | ⓭ |
|---|---|---|---|---|---|

| 対象期間 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓮（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓯（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓰（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓱（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |

## ⑥ 請求者の婚姻期間等に係る資格記録

| | 事業所名称（支店名等）、船舶所有者名称または共済組合名称等 ※4 | 勤務期間または国民年金の加入期間 ※5 | 加入年金制度（○で囲んでください） | 事業所（船舶所有者）の所在地または国民年金加入当時の住所 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 見本商事(株) | (自) 平成12年 4月 1日<br>(至) 平成14年 3月 31日 | 国年 **厚年**<br>船保 共済 | 東京都 見本区 |
| 2 | 国民年金 | (自) 平成14年 4月 1日<br>(至) 令和8年 6月 15日 | **国年** 厚年<br>船保 共済 | 見本県 見本市 |
| 3 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| 4 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| 5 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| ※6 備考 | | | | |

基礎年金番号と異なる記号番号の年金手帳等をお持ちの場合は、その年金手帳等の記号番号をすべてご記入ください。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 厚生年金保険、国民年金または船員保険の手帳記号番号 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

## ⑦ 配偶者（配偶者であった方）の婚姻期間等に係る資格記録

| | 事業所名称（支店名等）、船舶所有者名称または共済組合名称等 ※4 | 勤務期間または国民年金の加入期間 ※5 | 加入年金制度（○で囲んでください） | 事業所（船舶所有者）の所在地または国民年金加入当時の住所 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 見本電機(株) | (自) 平成12年 4月 1日<br>(至) 平成18年 3月 31日 | 国年 **厚年**<br>船保 共済 | 東京都 見本区 |
| 2 | 見本工業(株) | (自) 平成18年 4月 1日<br>(至) 継続中年 月 日 | 国年 **厚年**<br>船保 共済 | 神奈川県 見本市 |
| 3 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| 4 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| 5 | | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | 国年 厚年<br>船保 共済 | |
| 配偶者の住所歴 | (自) 平成12年 4月 1日<br>(至) 令和7年 9月 30日 | 東京都見本区試験町3-X-X | | |
| | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | | | |
| | (自) 年 月 日<br>(至) 年 月 日 | | | |
| ※6 備考 | | | | |

基礎年金番号と異なる記号番号の年金手帳等をお持ちの場合は、その年金手帳等の記号番号をすべてご記入ください。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 厚生年金保険、国民年金または船員保険の手帳記号番号 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

※4　駐留軍の施設関係に勤めていたことがある方は、「事業所名称」欄に部隊名、施設名および職種をできるかぎりご記入ください。

※5　本請求書を提出する日において、厚生年金保険の被保険者である状態が続いている場合には、「勤務期間」欄の（至）に「継続中」とご記入ください。

※6　記入欄が足りない場合には、「備考」欄にご記入ください。

様式第６５０号

| 受付登録コード | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 7 | 8 | 1 | 1 |

| 届書コード | | 処理区分 | |
|---|---|---|---|
| 7 | 8 | 1 | 1 |

二次元コード貼付

# 年金分割のための情報提供請求書

◆ 請求方法について、該当する数字を丸で囲んでください。

**方法**　１．当事者二人による共同の請求　(2) 当事者一方のみによる請求

請求方法に関わらず、「請求者」欄、「配偶者(配偶者であった方)」欄の両方をご記入ください。（③欄を除く）

◆ 太枠□の中に必要事項をご記入ください。（２ページ目以降もご記入ください。）

**①基本情報**

| | | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合においてもご記入ください。 |
|---|---|---|---|
| 1-1 | （1）個人番号 ※1<br>（または基礎年金番号） | ❶ 2345678901 | ❸ 345678901 2 |
| 1-2 | （2）生年月日 | ❷ 大正・(昭和)・平成　48年 3月 3日 | ❹ 大正・(昭和)・平成　50年 8月 20日 |
| 1-3 | （3）氏　名 | （フリガナ）ヤマダ　タロウ<br>（氏）山田　（旧姓　）<br>（名）太郎 | （フリガナ）ヤマダ　ハナコ<br>（氏）山田　（旧姓 佐藤 ）<br>（名）花子 |
| 1-4 | （4）住　所 ※2 | 郵便番号 123-4567<br>（フリガナ）ミホンケン ミホンシ シケンチョウ<br>市区町村<br>見本県見本市試験町1-2-3 | 郵便番号 123-4567<br>（フリガナ）ミホンケン ミホンシ シケンチョウ<br>市区町村<br>見本県見本市試験町1-2-3 |
| 1-5 | （5）電話番号 | 090 — XXXX — XXXX | 090 — XXXX — XXXX |

※１　基礎年金番号（10桁）で届出する場合は左詰めでご記入ください。

※２　当事者一方のみによる請求の場合であって、配偶者（配偶者であった方）の現住所が不明の場合は①欄の「（４）住所」欄に「不明」と記入し、⑦欄の「配偶者の住所歴」欄に住所をわかる範囲でご記入ください。

**②婚姻期間等**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2-1 | （1）法律婚期間<br>（事実婚期間のみの場合は記入不要です。） | 婚姻した日 | ❻ 昭和・(平成)・令和　12年 4月 1日 |
| | | 離婚した日または婚姻が取り消された日<br>（現在、婚姻関係にある場合は記入不要です。） | ❼ 令和　年 月 日　離婚日は空欄 |
| 2-2 | （2）事実婚期間<br>（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情（事実婚関係）にある期間） | 事実婚期間の有無<br>（右欄の該当する数字を丸で囲んでください。） | (1) 事実婚期間を有しない。⇒ ③欄（裏面）へ進む<br>2．事実婚期間のみを有する。⇒ ア・イ・ウを記入する<br>3．事実婚期間と事実婚期間から引き続く法律婚期間を有する。⇒ ア・ウを記入する |
| | | ア 事実婚第３号被保険者期間の初日 | ❻ 昭和・平成・令和　年 月 日 |
| | | イ 事実婚関係が解消したと認められる日<br>（現在、事実婚関係にある場合は記入不要です。） | ❼ 令和　年 月 日 |
| | | ウ 事実婚第３号被保険者期間 ※3 | 昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで<br>昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで<br>昭和 平成 令和　年 月 日 から　昭和 平成 令和　年 月 日 まで |

※３　事実婚第３号被保険者期間は、事実婚期間にある間に、一方が他方の被扶養配偶者として第３号被保険者であった期間です。記入欄には該当するすべての期間をご記入ください。記入欄が足りない場合は、⑥欄、⑦欄の「備考」欄にご記入ください。

| 年金事務所　決裁欄 | | |
|---|---|---|
| 決裁 | 二次 | 一次 |
| | | |

❺ 実施機関等　受付年月日

事務センター　受付年月日

## ③ 請求の意思確認

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合、「配偶者（配偶者であった方）」欄の記入は不要です。 |
|---|---|---|
| 3-1 （1）情報提供要否<br>右欄に☑してください。 | ☑ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 | ☐ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 |
| 3-2 （2）通知書等の交付方法<br>右欄の希望する交付方法の数字を丸で囲んでください。 | ① 年金事務所窓口での交付<br>2．郵送による交付 | 1．年金事務所窓口での交付<br>2．郵送による交付 |
| 送付先住所・宛名<br>郵送による交付を希望し、送付先住所が1欄と異なる場合に記入してください。<br>宛名は本人のみをご記入ください。 | ❽ 郵便番号 ［　　］－［　　］<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>（氏）❿ （名） | ❽ 郵便番号 ［　　］－［　　］<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>（氏）❿ （名） |
| 3-3 （3）年金見込額試算要否<br>年金分割をした場合の見込額を希望する場合は、該当するものに☑し、按分割合をご記入ください。 | ☑ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>☐ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能<br>希望する按分割合（上限 50%）<br>＊上限を超えた（または下限を下回る）按分割合を記入の場合は、上限（または下限）による試算を行います。<br>40 % | ☐ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>☐ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能<br>按分割合…当事者双方の対象期間標準報酬総額の合計のうち、対象期間標準報酬総額が少ない方の分割後における持分の割合 |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、当事者以外の方に扶養され、第３号被保険者となっていた期間（または当事者以外の方を扶養し、第３号被保険者としていた期間）についてご記入ください。

## ④ 対象期間等に含めない期間

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合は、わかる範囲でご記入ください。 |
|---|---|---|
| 4-1 （1）当事者以外の方との第３号被保険者期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | ①．該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する | ①．該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する |
| （2）当事者以外の方の氏名等<br>当事者以外の方との第３号被保険者期間がある場合は、該当する数字を丸で囲み、当事者以外の方の氏名等をご記入ください。 | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある<br>（フリガナ）<br>（氏）　（名）<br>（生年月日）大正・昭和・平成　年　月　日<br>（基礎年金番号） | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある<br>（フリガナ）<br>（氏）　（名）<br>（生年月日）大正・昭和・平成　年　月　日<br>（基礎年金番号） |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、過去に情報提供を受けたことがある方のみご記入ください。

## ⑤ 再請求理由

| | |
|---|---|
| （1）前回情報提供時からの期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | 1．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過している。⇒ ⑥欄へ進む<br>2．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過していない。⇒（2）欄を記入する |
| （2）再請求理由<br>前回情報提供から３か月を経過していない場合は、右欄のアからオのうち、該当するものを丸で囲んでください。 | ア　請求者または配偶者（配偶者であった方）の被保険者の種別の変更があったため。<br>イ　請求者または配偶者（配偶者であった方）が養育期間に係る申出を行ったため。<br>ウ　請求者または配偶者（配偶者であった方）が第３号被保険者に係る届出を行ったため。<br>エ　按分割合を定めるための裁判手続に必要なため。<br>オ　その他（　　） |

**職員記入欄**（以下は記入する必要はありません。）

| 共済組合コード１ ⓫ | 共済組合コード２ ⓬ | 共済組合コード３ ⓭ |
|---|---|---|
| | | |

| 対象期間 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓮（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓯（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓰（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓱（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |

様式第６５０号

| 受付登録コード | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 7 | 8 | 1 | 1 |

| 届書コード | | 処理区分 | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 8 | 1 | 1 | |

二次元コード貼付

# 年金分割のための情報提供請求書

◆ 請求方法について、該当する数字を丸で囲んでください。

**方法** ① 当事者二人による共同の請求　　２．当事者一方のみによる請求

請求方法に関わらず、「請求者」欄、「配偶者(配偶者であった方)」欄の両方をご記入ください。（③欄を除く）

◆ 太枠□の中に必要事項をご記入ください。（２ページ目以降もご記入ください。）

## ①基本情報

| | | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合においてもご記入ください。 |
|---|---|---|---|
| 1-1 | （１）個人番号 ※1<br>（または基礎年金番号） | ❶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 | ❸ 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 |
| 1-2 | （２）生年月日 | ❷ 大正・(昭和)・平成　50年 8月 20日 | ❹ 大正・(昭和)・平成　48年 3月 3日 |
| 1-3 | （３）氏　名 | （フリガナ）ヤマダ　ハナコ<br>（氏）山田（旧姓 佐藤）　（名）花子 | （フリガナ）ヤマダ　タロウ<br>（氏）山田（旧姓　）　（名）太郎 |
| 1-4 | （４）住　所 ※2 | 郵便番号　－<br>（フリガナ）<br>市 区<br>町 村<br>別紙記入 | 郵便番号 2 3 4 － 5 6 7 8<br>（フリガナ）ミホンケン ミホンシ ミホンチョウ<br>市 区<br>町 村<br>見本県見本市見本町4-5-6 |
| 1-5 | （５）電話番号 | 別紙記入　—　— | 090 —　XXXX　— XXXX |

※１　基礎年金番号（10桁）で届出する場合は左詰めでご記入ください。

※２　当事者一方のみによる請求の場合であって、配偶者（配偶者であった方）の現住所が不明の場合は①欄の「（４）住所」欄に「不明」と記入し、⑦欄の「配偶者の住所歴」欄に住所をわかる範囲でご記入ください。

## ②婚姻期間等

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2-1 | （１）法律婚期間<br>（事実婚期間のみの場合は記入不要です。） | 婚姻した日 | ❻ 昭和・(平成)・令和 | 12年 4月 1日 |
| | | 離婚した日または婚姻が取り消された日<br>（現在、婚姻関係にある場合は記入不要です。） | ❼ (令和) | 8年 6月 15日 |
| | （２）事実婚期間<br>（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情（事実婚関係）にある期間 | 事実婚期間の有無<br>（右欄の該当する数字を丸で囲んでください。） | | 1．事実婚期間を有しない。⇒ ③欄（裏面）へ進む<br>2．事実婚期間のみを有する。⇒ ア・イ・ウを記入する<br>3．事実婚期間と事実婚期間から引き続く法律婚期間を有する。⇒ ア・ウを記入する |
| | | ア 事実婚第３号被保険者期間の初日 | ❻ 昭和・平成・令和 | 年 月 日 |
| | | イ 事実婚関係が解消したと認められる日<br>（現在、事実婚関係にある場合は記入不要です。） | ❼ 令和 | 年 月 日 |
| | | ウ 事実婚第３号被保険者期間 ※3 | 昭和 平成 令和 年 月 日 から | 昭和 平成 令和 年 月 日 まで |
| | | | 昭和 平成 令和 年 月 日 から | 昭和 平成 令和 年 月 日 まで |
| | | | 昭和 平成 令和 年 月 日 から | 昭和 平成 令和 年 月 日 まで |

※３　事実婚第３号被保険者期間は、事実婚期間にある間に、一方が他方の被扶養配偶者として第３号被保険者であった期間です。記入欄には該当するすべての期間をご記入ください。記入欄が足りない場合は、⑥欄、⑦欄の「備考」欄にご記入ください。

| 年金事務所　決裁欄 | | |
|---|---|---|
| 決裁 | 二次 | 一次 |
| | | |

❺ 実施機関等 受付年月日

事務センター 受付年月日

## ③ 請求の意思確認

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合、「配偶者（配偶者であった方）」欄の記入は不要です。 |
|---|---|---|
| 3-1 （1）情報提供要否<br>右欄に☑してください。 | ☑ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 | ☑ 厚生年金保険法第78条の4の規定に基づき、標準報酬改定請求を行うために必要な情報の提供を請求します。 |
| （2）通知書等の交付方法<br>右欄の希望する交付方法の数字を丸で囲んでください。 | 1．年金事務所窓口での交付<br>(2) 郵送による交付 | (1) 年金事務所窓口での交付<br>2．郵送による交付 |
| 3-2 送付先住所・宛名<br>郵送による交付を希望し、送付先住所が1欄と異なる場合に記入してください。<br>宛名は本人のみをご記入ください。 | ❸ 郵便番号 ―<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>別紙に記入<br>氏 ❿ （名） | ❽ 郵便番号 ―<br>（フリガナ）<br>❾ 市区町村<br>氏 ❿ （名） |
| （3）年金見込額試算要否<br>年金分割をした場合の見込額を希望する場合は、該当するものに☑し、按分割合をご記入ください。 | □ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>□ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能 | □ 老齢厚生年金見込額の試算を希望する<br>□ 障害厚生年金見込額の試算を希望する<br>＊50歳以上の方または障害厚生年金を受けている方のみ試算が可能 |
| 希望する按分割合（上限 50%）<br>＊上限を超えた（または下限を下回る）按分割合を記入の場合は、上限（または下限）による試算を行います。 | ％ | 按分割合…当事者双方の対象期間標準報酬総額の合計のうち、対象期間標準報酬総額が少ない方の分割後における持分の割合 |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、当事者以外の方に扶養され、第３号被保険者となっていた期間（または当事者以外の方を扶養し、第３号被保険者としていた期間）についてご記入ください。

## ④ 対象期間等に含めない期間

| | 請求者 | 配偶者（配偶者であった方）<br>＊「当事者一方のみによる請求」の場合は、わかる範囲でご記入ください。 |
|---|---|---|
| （1）当事者以外の方との第３号被保険者期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | 1．該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する | 1．該当する期間はない。<br>2．該当する期間がある。⇒（2）欄を記入する |
| （2）当事者以外の方の氏名等<br>当事者以外の方との第３号被保険者期間がある場合は、該当する数字を丸で囲み、当事者以外の方の氏名等をご記入ください。 | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある | 1．当事者以外に扶養された第３号被保険者期間がある<br>2．当事者以外の方が自身に扶養された第３号被保険者期間がある |
| | （フリガナ）<br>（氏） （名） | （フリガナ）<br>（氏） （名） |
| | （生年月日）大正・昭和・平成 年 月 日 | （生年月日）大正・昭和・平成 年 月 日 |
| | （基礎年金番号） | （基礎年金番号） |

◆ 情報の提供を受けようとする婚姻期間について、過去に情報提供を受けたことがある方のみご記入ください。

## ⑤ 再請求理由

| | |
|---|---|
| （1）前回情報提供時からの期間<br>右欄の該当する数字を丸で囲んでください。 | 1．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過している。⇒ ⑥欄へ進む<br>2．前回情報提供を受けた日の翌日から起算して３か月を経過していない。⇒（2）欄を記入する |
| （2）再請求理由<br>前回情報提供から３か月を経過していない場合は、右欄のアからオのうち、該当するものを丸で囲んでください。 | (ア) 請求者または配偶者（配偶者であった方）の被保険者の種別の変更があったため。<br>(イ) 請求者または配偶者（配偶者であった方）が養育期間に係る申出を行ったため。<br>(ウ) 請求者または配偶者（配偶者であった方）が第３号被保険者に係る届出を行ったため。<br>(エ) 按分割合を定めるための裁判手続に必要なため。<br>(オ) その他（ ） |

**職員記入欄**（以下は記入する必要はありません。）

| 共済組合コード１ | ⓫ | 共済組合コード２ | ⓬ | 共済組合コード３ | ⓭ |
|---|---|---|---|---|---|

| 対象期間 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓮（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓯（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓰（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ⓱（自） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 | （至） | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 日 |